

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和2年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ⑤農林水産業分野(5/5)

| | 総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算) | I | II | III | 総合評価に係る専門家所見(主なもの) |
|---|--------------------------------|--|--|-----------------------|---|
| | | 目標に向けた取組の進捗 | 支援措置の活用と地域独自の取組の状況 | 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決 | |
| 千年の草原の継承と創造的活用総合特区(阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村、山都町) | 3.1 | 3.4 進捗度 ・草原管理面積、野焼き再開 牧野数 97% ・牛馬の放牧頭数 《定性的評価》 ・観光入り込み総数、阿蘇地域の宿泊客数 《定性的評価》 ・あか牛肉料理認定店数 67% ・草原体験利用者数 《定性的評価》 | 3.0 財政支援等 ・生物多様性保全推進交付金事業 地域独自の取組 ・ASO環境共生基金事業 ・入湯税込観光活用事業 等 | 3.0 | <p>・自然災害とコロナ禍のため、ねらいとする草原体験ツアー等が実施が難しい状況にあり、実績があがっていないが、取組みの方向性に問題はないと考える。</p> <p>・草原管理面積を維持することが目標だが、継続的に減少している。要因分析と対策が必要と思われる。</p> <p>・評価指標(3)－①「観光入り込み総数」は、進捗度は低下しているが、実績値は増加しており、評価指標(3)－②「阿蘇地域の宿泊客数」及び評価指標(5)「草原体験利用者数」も増加しており、全体として望ましい結果になったものと評価できる。</p> <p>・評価指標(4)「あか牛肉料理認定店数」は、実績値、進捗度も大きく減少しているが、分析内容を見ると、そもそも前年度までの実績値が、実態と乖離していたものと判断せざるをえない。</p> <p>・新型コロナのショックがいつまで続くのかは予断できないが、アフター・コロナの状況に向けて、供給側としての着実な準備を行うことが重要である。また、自然資源や農業資源の特長である屋外での活動に注目することでコロナ下での活動を見いだすことができるかもしれない。</p> |